

(様式第4号)

審議会等附属機関 会議概要

1	審議会名	平成24年度(第3期)第4回上野が丘公民館運営審議会
2	日時	平成25年3月4日(月) 午後1時30分から午後3時00分まで
3	会場	上野が丘公民館 1階第1学習室
4	出席者	富田隆順会長、吉池正敏副会長、滝澤育子、目黒正子、宮下啓一委員
5	市側出席者	坪田館長、山崎次長、木内指導員、小林指導員
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人、記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成25年3月6日

協議事項等

1	開 会
2	あいさつ(坪田館長・富田会長) 公民館事業ほかの近況報告と本日の会議の趣旨を述べる。 メンバーが変わって実質初めての会議となる。今までの成果の上に立って事業を行って欲しい。
3	会議事項 (1) 平成24年度の公民館事業について 6つの分野別の概要を説明し、12月までの利用状況を事務局から報告。 平成23年度の公民館活動記録の冊子も配布し、一緒に見比べてもらう。 自治会懇談会を含む人権同和教育と青少年育成推進事業の結果について事務局から報告。 (委員) くるびかLED工作教室はどのようなものか。 (事務局) 商工課とタイアップしたもので、長野県工科短期大学校へ出掛けての工作教室。 (委員) 運動会について、人集め等大変だという声があったようだが。 (委員) 私の地区のスポーツ大会も、隣組ごとのチーム編成は難しくなって、合併出場も認めて継続しているので参考にされたい。 (事務局) スポーツ推進委員と検討して、今年は種目を一部変えたり、得点種目を減らすことで実施することにした。 (委員) せっかく続いている大会なので、工夫しながら継続していくようにされたい。 (委員) はつらつかレッジの課題はどうか。 (事務局) 高齢者学級に倣った自主的な運営にという声と、もっと気楽にやりたいという声がある。 (委員) 今年はどうだったか。 (事務局) 当番班を決め、準備等してもらうようにした。予定人数を超えた申し込みはお断りした。 (委員) 人数を絞るのは仕方ないこと。 了承される。 (2) 平成25年度の公民館事業について 同様に6つの分野ごとに計画を事務局から説明。併せて行事の予定表も配布。 (委員) ロケット教室をもう少し詳しく (事務局) 商工課とタイアップして行うもので、糸川英夫さんにゆかりのある豊殿小学校の140周年事業に組み入れたい。 (委員) 豊殿小学校は120周年のとき、学校の校名看板を糸川先生に書いてもらった。 (事務局) 児童数も丁度良いようです。 (委員) 公民館まつりで、地域の獅子舞など発表してもらうのはどうか。後継者育成に加え、練習の励みにもなる。両地域に結構あると思うが。 (事務局) 出演数や順番など相談しながら、アトラクションに組み入れていきたい。

長野県の「若者が創る 信濃の国 再発見物語」への参画案を事務局から説明。小学生向けのわいわい塾に加え、中学生の居場所づくりを文部科学省からの委託事業として手を挙げている。

（委員）児童広場とは違うのか。

（事務局）一般募集するのではなく、学校と相談して特定児童から始めたい。

（委員）豊殿小の卒業生には該当者がいないかと。

（事務局）神科小からは期待されている。

（委員）指導者はどうするのか。

（事務局）地元の学識経験者（公民館OB者）などを予定している。
了承される。

閉 会